

空山寂寥はさけ

秋冷目比前ふあるは

恋の音は深く

飲みこみしを嗜郎

不化葉

ハンドバックは

革がよいやう

菊の花 黄いろい 喜作

雨やみて裏の川音

きりくす 喜作

美入石 不 へ 食 じ こ じ 一 坐 し 一 物

昭和十一年十月廿三日 喜作 喜作 喜作 喜作 喜作